

2/1 3年
薬物乱用
防止講座

蒲郡マリンライオンズクラブの皆様によるこの講座を受けて「薬物乱用なんて関係ない」という3年生はいないでしょう。「なぜやってしまうのかを伝えたい」という、講師市川様による人間味あふれる語り口に、会場の全員が引き込まれました。



蒲郡マリンライオンズクラブのメンバーらしからぬ、近所のゆかいなおっさんと呼ぶにふさわしい、市川ライオン様の薬物乱用講座(抜粋)

※一般的な「薬物乱用講座」的な内容は、皆さんご存じだろうと想いますので、省略します。

疑問「優秀な人までもが、なぜ薬物乱用などするのか？」

解答「人間は、感情の動物だから。」

●人が生きていく上では、誰しも悩みがある。それを乗り越えてこそ己の血と肉となる。しかし、その過程で「悩みから逃れたい」「快楽を得たい」と心が揺れた時に、売人などからの「悪魔のささやき」が訪れる。

●市販の薬であれ、使用法を誤れば、「薬物乱用」となる。

たった1回の使用であれ、それが違法薬物ならば「薬物乱用」となる。

●皆さんにやってほしいこと

・みんなとなかよくしてほしい。

・人がなかよくできない原因の多くは、言葉足らずの勘違いやすれ違い。

勇気を出して、魔法の言葉(「ありがとう」「すみません」)を使ってほしい。

(おまけ)「すみませんと謝ることは大切です。私なんか、今この瞬間も謝りたいくらいです。」

「お酒は楽しいよ。今でもどうやって帰ってきたか分らん時がある。あと5年待つてね。」

「タバコはよくない。カッコつけて吸ってる奴はばかだ。もっと他のことでがんばりなさい。」

これからは、市川さんを指名したいくらいでした。娘さんは優秀な子でしたが、ご両親はまさにゆかいな夫婦です。(中部中で同じ学年を経験した奥様の愉快さは、群を抜いていました。)

